

製品名: GATA4 (6U13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11313**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200
分子量	45kDa

抗原情報

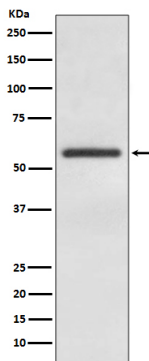
遺伝子名	GATA4
別名	ASD2; GATA 4; GATA binding protein 4; gata4; Transcription factor GATA 4; VSD1;
遺伝子 ID	2626.0
SwissProt ID	P43694
免疫原	ヒト GATA4 の合成ペプチド

背景

骨形成タンパク質 (BMP) を介した心臓特異的遺伝子発現誘導に関与する (類似性による)。心臓活性化領域内の BMP 応答配列 (BMPRE) DNA 配列に結合する (類似性による)。NKX2-5 と連携して ANF の転写活性化因子として機能する (類似性による)。コンセンサス配列 5'-AGATAG-3' に結合し、心臓の発達と機能に重要な役割を果たす転写活性化因子 (PubMed:24000169、PubMed:27984724)。TBX5 と連携して心臓スーパーエンハンサーに結合し、心筋細胞の遺伝子発現を促進する一方で、心内膜および内皮細胞の遺伝子発現をダウンレギュレーションする (PubMed:27984724)。骨形成タンパク質 (BMP) を介した心臓特異的遺伝子発現誘導に関与する。心臓活性化領域内の BMP 応答配列 (BMPRE) DNA 配列に結合する (類似性による)。NKX2-5 と連携して ANF の転写活性化因子として作用する (類似性による)。心筋細胞の肥大を促進する (PubMed:20081228)。精巣の発達に必要である (PubMed:21220346)。スフィンゴシン-1-リン酸分解酵素であるスフィンゴシン-1-リン酸リアーゼの発現を制御することにより、スフィンゴ脂質シグナル伝達に関与する可能性がある (PubMed:15734735)。

研究分野

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の GATA4 発現のウェスタン プロット分析。